

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

### ①豊かな心をはぐくむ教育の推進

#### 1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。

#### 2 友達への思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

#### 3 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実が図られていますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)

○「一人一人の児童生徒の尊重」については、肯定的評価「3・4」の割合は児童91%、保護者88%と比較的高い割合であるが、「1・2」と回答した児童が9%。このことを重く受け止め、児童一人一人と向き合う時間の確保や個別の支援を検討し、全職員で共有する場を設定を行うなど、細やかに対応していきたい。「道徳・心の教育の充実」については、保護者の「4」の割合が昨年度に比べ13ポイント下がっている。(62%→49%)今年度は心の教育の充実に向けて、全校集会における校長講話や企画委員会発表によるポランティア活動など様々な取り組みを行った。今後、保護者への発信にも力を入れていきたい。

### ②確かな学力を育む教育の推進

#### 4 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

#### 5 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。

#### 6 IOT活用

子どもは、タブレット端末を学校や家庭で活用して学習していると思いますか。

○「意欲的な学習態度」については、「3・4」の割合は、児童は93%、保護者は95%とどちらも高い評価であり、昨年より伸びている。「授業力向上」では、児童の「4」の割合が25ポイント近く減少している。この要因の一つとして、今年度よりアンケート実施を4年生以上としていることが考えられるが、今後さらに児童の実態把握を深め、課題に意欲を持って取り組めるような授業づくりを進めていきたい。「IOT活用」については、「3・4」の割合は児童は93%、保護者は95%、教師は100%であり、授業におけるタブレットの利活用は定着している。今後も教師の指導力向上を図るための研修を確保したい。

### ③健やかな体を育む教育の推進

#### 7 健康づくり

子どもは、好き嫌いがなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

○「健康づくり」については、「3・4」の割合は、児童(77%→80%)、保護者(91%→96%)ともに伸びている。コロナ禍の影響が少なく継続され、体育的活動の充実や学校と家庭が連携して生活習慣向上を図った成果だと考える。

### ④いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

#### 8 児童生徒理解

先生方は、子どものよきを見つめ、子どもを理解しようとしていると思いますか。

### ④いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

#### 9 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

○「いじめや問題への対応」については、児童の「3・4」の割合は伸びており(87%→91%)、「1」の回答は0%であった。毎月のきずなアンケートや教育相談による働きかけ等の取組が効果的と考える。一方で「児童生徒理解」について、保護者の「4」の割合が10ポイント近く減少している。学校での取組や実践が伝わるように丁寧な説明を行い、信頼を築いていく必要がある。「特別支援教育の推進」については、本校では特別支援教育と通常学級の交流は盛んに行っており、児童、保護者共に肯定的評価の割合は高い。

### ⑤特別支援教育の推進

#### 10 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、迅速理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

#### 11 共生社会を担う人材の育成

「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。

### ①子どもたちの身近な安全対策の充実

#### 12 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

○この項目については、保護者の「3・4」の割合が減少(97%→90%)している。学校での安全教育の取組の発信に努め、登下校の指導など、学校・家庭・地域と連携して安全教育を推進していきたい。

### ②最適な学習環境の整備

#### 13 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

○三者共に肯定的回答「3・4」の割合が95%を超えている。施設の老朽化に伴い、雨漏りや水漏れ等が心配されるため、計画的な整備を行い、安全性を維持していく必要がある。

### ③家庭・地域社会との連携強化

#### 14 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。

○「教育方針・目標の理解」については、児童の「2・1」の割合が20%近くいる。教育方針や目標を分かりやすく伝える工夫や全校集会や学校行事の機会をとらえて児童の意識を高める働きかけをしていきたい。また、「家庭や地域との連携協力」については、保護者の「3・4」の割合が減少している(93%→81%)。コロナ禍で希薄になっている家庭や地域との連携が途切れることのないよう努めたい。

#### 15 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

### 本校独自の教育

#### 16 児童が主体的に考え行動する教育活動の展開

学校は、児童が主体的に考え行動し、達成感や成就感を味わえる教育活動を展開していると思いますか。

○「児童が主体的に考え行動する教育活動の展開」については、肯定的評価「3・4」の割合は児童は89%、保護者は88%であった。子どもたちが意欲を持って取り組む活動の工夫をさらにしながら、その様子を保護者へ発信する努力をしていきたい。「地域や家族に感謝する教育の推進」については、6割近くの児童が感謝する気持ちをもてることができた。さらに「障がいのある子どもの理解を高めるため、心をなす教育活動」に努めたい。「地域が誇りに思う開かれた学校づくり」については、児童の肯定的評価「4・3」の割合は98%と非常に高い。総合的な学習の時間を中心とした地域に根ざした学習の充実や地域行事「田原坂ウォークラリー」等への積極的な参加の成果であると考える。

#### 17 地域や家族に感謝する教育の推進

学校は、児童が挨拶や一人一語、ポランティア活動等を通して、地域や家族に感謝する教育が推進されていると思いますか。

#### 18 地域が誇りに思う開かれた学校づくり

学校は、地域が誇りに思う開かれた学校づくりをしていると思いますか。

### 来年度の具体的な取り組みについて

○豊かな心をはぐくむ教育を推進するために、道徳教育の充実や児童生活の活性化や特別活動の充実を図り、心を拓く教育活動に積極的に取り組んでいく。また、児童と向き合う時間の確保や、個別の支援を検討し全職員で共有する場を定期的、臨時的に設け、一人一人と大切に指導を充実させる。

○確かな学力を育む教育を推進するために、全職員で児童の課題を分析し、きめ細やかな指導の工夫・改善に努める。また、児童が主体的に課題を見つめ、学習する態度を育むための、校内の研究体制を強化していく。その中で、児童が考えてみたいと思うような課題提示や実態に即したステップでの段階を越えた展開の方法を工夫していく。

○健やかな体を育む教育の推進のために、体育の授業の充実、体力タイムの定期的な実施に継続的に取り組んでいく。また今後、学校・家庭と連携し、学校保健委員会等を活用し、生活習慣の向上に努める。

○いじめ、不登校などに対する相談・支援体制を充実させるために、毎月のきずなアンケートの結果や個別支援検討会の結果を全職員で共有し、共通理解を深める。また、きずなアンケート等の取組を保護者の方にも発信していく。更に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等専門家との連携強化を図る。児童にとって効果的な支援体制を構築する。

○特別支援教育の推進のために、職員間の研修の実施、児童の理解を図る場の設定、保護者啓発等を行い、学校全体で特別支援教育を推進する。

○「学校地域目標」を授業参観や学校行事等の機会をとらえて丁寧に説明を行い「教育方針・目標の理解」を図る。また、学校だよりを安心メールに添付して配布するなどして教育方針・目標の共有を図っていく。今後とも、教育目標を根拠に語え、地域と一体となって教育活動を推進していく。

○児童や保護者が学校教育に何を求めているのか、何をもって大切にされていると感じるのか具体的な思いを学校側が把握できるよう、機会あるごとに保護者に対して教育活動に対する振り返りを実施していく。

### 学校関係者評価

○肯定的評価を付けた子どもの中には、自分に厳しく自己評価が低いことがあるので、気を付けて見守る必要がある。

○大人と一緒にタブレットに慣れすぎると、漢字を書けなくなるのではないかという心配をしている。

○SNSでの人間関係のトラブルや誹謗中傷などが年々増加しているのが気をつけてほしい。